

昭和二十年八月十三日

長崎地方裁判所 檢事 山井 浩

長崎地方裁判所 長 石田 壽

司法大臣松阪廣政殿

八九空襲被害状況報告 (第一報)

多官内八月九日長崎市ニ於テ空襲被害状況在
記及報告候

八月九日十時五十三分敵B29二機熊本縣天草方面ヨリ
鳥厚半島西部橘灣上空ヲ経テ長崎市上空ニ侵入
一時二分頃落下傘附爆彈(廣島市ニ於テ使用セ
同様)三個ヲ投下セル後十一時三十分頃長崎縣北高来

郡戸石砦北方五軒ノ地突ニ落下傘附爆彈三個ヲ
投下セル内一個ハ高度千米ニ於テ炸裂シ二個ハ不發
儘同和山林内ニ落下セリ
尚同時刻頃東彼岸郡川棚町上空ニ於テ更ニ落下
傘附爆彈二個ヲ投下セルモ海中ニ落下セル爲メ
害ナキ模様ナリ
追テ前記戸石砦ノ被害ハ未明セズ調査中ナリ

一、当時ノ状況

本日敵ノ投下セル落下傘附新型爆彈ハB29ニ機ヨリ
高々度ニテ投下シ長崎市上空ヲ漂流シツテ降下シ高度
五百米位ニテ炸裂シタルモノト認メラレ其ノ威力ハ炸
裂ノ瞬間強度ノ白色内光ヲ発シ内光アリテ約十
秒位ニテ爆裂音ト共ニ強裂ナル爆風ト熱風トヲ生
ズ爆風ノ威力ハ半徑十二軒(三里)以上ニ及ビ炸裂セル亦
下ト認テラレ地域概テ二軒一平方圈内ニアル木造家
屋ハ殆ト全壊シ家屋形状位空道サヘモ不明ナレハ概
テ多ク四軒乃至六軒一平方圈内ニアル家屋屋根百